

メルマガ「まちづくりひろしま」7周年記念シンポジウム

被爆100年後の広島のマチの姿をどう描き、どう実現するか

この度は、広島平和記念都市建設法が制定されて70年を迎えるにあたり、その法律を再評価するため「被爆100年後の真に世界に向けて平和を発信するにふさわしい広島のみちづくりとは何か」をテーマにシンポジウムを行うことにしました。

広島平和記念都市建設法に謳われている「恒久の平和を誠実に実現しようとする理想の象徴として、広島市を平和記念都市として建設する」というまちづくりの理念を理解し、その実現のために私たちは何をすればよいのかを一緒に考えていただければと思います。

日時：2019年7月21日（日）13:30～17:30

会場：合人社ウエンディひと・まちプラザ
北棟6階マルチメディアスタジアム
広島市中区袋町6番36号、TEL(082)545-3911

定員：112席

入場無料

事前申し込み不要

プログラム（敬称略）

第1部 基調講演 13:45～14:15

石丸紀興（広島諸事・地域再生研究所代表）

『戦後広島復興の軌跡から未来の姿を読む』

第2部 パネルディスカッション 14:15～15:15

『次の世代と共に考えたいこと』

石丸紀興（広島諸事・地域再生研究所代表）

通谷 章（ガリバープロダクツ代表）

渡部朋子（ANT-Hiroshima 理事長）

前岡智之（メルマガ「まちづくりひろしま」発行人）

《 休憩 ・ 会場設営 》

第3部 ワールドカフェ風グループ討議 15:30～17:30

『被爆100年後の広島を想像し、創造しよう』

ホスト：石原悠一（アーティスト、壁画制作など）

片島 蘭（染織作家、市立大非常勤特任教員）

高橋幸子（建築家、主に個人住宅設計）

築島 涉（天ライターズ代表、企画戦略など）

松波静香（ギャラリーG、キュレーター）

ファシリテーター：桧山 渉（中国セントラルコンサルタント、都市計画担当）

基調講演者

石丸紀興

広島諸事・地域再生研究所
代表



元広島大学工学部教授
戦災復興計画や都市計画史の研究、被爆建物等の保存や利用方法の提案など。
「広島市被爆70年史」（共著）。中国文化賞、日本都市計画学会功績賞、日本建築学会賞（論文）受賞

ワールドカフェとは？

「カフェ」にいるような雰囲気、参加者同士がリラックスし、気楽で自由に対話できるように考えられた話し合いのやり方です。

ワールドカフェに参加希望の方へ

定員：25人程度（事前申込必要、参加費無料）

申込先：広島アイデアコンペ実行委員会事務局

申込方法：メールまたはFAX

メール：hiroshima.idea.c@chugokuc.co.jp

FAX：082-291-8054

記入事項：①名前②職業③年齢④メールアドレス

*定員になり次第、予約受付終了します。

主催：メルマガ「まちづくりひろしま」編集委員会

未来を目指すまちづくりひろしまの会

後援：（公社）日本都市計画学会中国四国支部（予定）

（公社）日本建築家協会中国支部広島地域会（予定）

パネリスト		コーディネーター	
<p>石丸紀興 広島諸事・地域再生研究所代表</p>  <p>1940年旧・満州生まれ。1966年東大大学院工学研究科修士課程修了後、広島大学工学部助手、1996年同学部教授。2003年広島国際大学教授。2011年広島諸事・地域再生研究所設立。</p>	<p>通谷 章 ガリバープロダクツ代表</p>  <p>1950年生まれ、山口県出身。1973年早稲田大学卒。週刊誌記者、新聞社勤務等を経て、1990年に編集プロダクション「ガリバープロダクツ」設立。著書に「エーション・オーバー」ほか。日本ペンクラブ会員。</p>	<p>渡部朋子 ANT-Hiroshima 理事長</p>  <p>1953年広島生まれ。1976年広島修道大学卒。1989年に「アジアの友と手をつなぐ広島市民の会」を設立。2007年特定非営利活動法人「ANT-Hiroshima」に改称し、理事長となる。</p>	<p>前岡智之 メルマガ「まちづくりひろしま」発行人</p>  <p>1947年広島生まれ。1972年広大大学院工学研究科修士課程修了後、中国セントラルコンサルタント代表。2012年メルマガ「まちづくりひろしま」発行。2019年未来を目指すまちづくりひろしまの会設立。</p>

ワールドカフェのやり方

開催目的の確認

ワールドカフェは、話し合うテーマに対して、急いで課題の解決策を見出したり、合意形成をして結論を出したりすることが目的ではありません。あくまでも自由に意見を出し合い、お互いの考えやその背景にある多様な価値観を知り、参加者の理解を深めることが目的です。

今回は、**広島の未来のまちをみんなで想像し合い、自由な意見交換をして互いの理解を深めるため、ワールドカフェのやり方**を採用しました。まだ不慣れな点が多く、うまくいくものか不安がありますが、**特に若い人たちのチャレンジに期待しています。**

ルール

エチケット

ワールドカフェは、安全な雰囲気の中で、自由に活発な話し合いができるよう、次のようなルールを守りながらご参加ください。

- ・テーマに焦点を当てる
- ・参加者との対話を楽しむ
- ・発言者の意見をよく聴く
- ・分からないことは質問して理解を深める
- ・自由な意見歓迎。発言者の意見は否定せず、多様な意見を受け入れる
- ・他の人のアイデアへの結合を歓迎する
- ・話し合った内容は視覚化できるよう模造紙に表現する

ワールドカフェの進行

ワールドカフェでは、20～30分を1ラウンドとし、3ラウンド行います。**1ラウンド目は、テーマ（問い）について自由に話し合います。気付いたこと、感じたことなどを模造紙に書き出します（落書き感覚でOK）。2ラウンド目は、話し合いを発散します。ホストを1名テーブルに残し、それ以外の人には他の興味があるテーブルに移動します。ホストは、新しいメンバーと共に簡単な自己紹介をした後、1ラウンド目で話し合った内容や模造紙に書かれていることを新しいメンバーに伝え、共有します。その後、1ラウンド目の内容を広げるように、テーマに対して話し合いを深堀します。メンバーが変わり、いろんな視点が加わることで話し合いが発散します。3ラウンド目は、全員が1ラウンド目で話し合ったテーブルに戻ります。2ラウンド目で他テーブルに移動して得た意見や気づきを統合し、テーマに対する意見をまとめます。最後に、話し合った内容を参加者全員で共有します。**